

小学校  
5年

# 寒い気候を生かした生活について調べよう

阪南市立朝日小学校

教科

社会

単元名

自然条件と人々の暮らし

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

D-STEP 2, G-STEP 3

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



## 単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・自然条件から見て特色のある地域の人々が、自然環境に適応して生活していることを理解するとともに、地図帳や統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。
- ・我が国の国土の自然環境の特色と国民生活との関連を多角的に考える力、考えたことを説明する力。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・図書館資料から、必要な情報（写真、グラフ、統計的資料等）を選ぶ力。
- ・教科書と図書館資料を関連付けて考え、発表文にまとめる力（スライドにまとめて発表する力）

## 単元における学習の展開（全 13 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (2 時間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・あたたかい地域と寒い地域、高地と低地それぞれの様子に着目して、各地の自然条件と人々の暮らしや産業との関係について、学習問題をつくる。</li><li>・気候や地形に特色のある地域の暮らしや産業について、これまでの学習を根拠に予想や学習計画を立てる。</li></ul>
第 2 次 (6 時間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・沖縄県の気候に着目して、暖かい気候を生かした沖縄県の観光の工夫を捉える。</li><li>・沖縄県の気候に着目して、暖かく台風の多い気候に合った農業・水産業が沖縄県で営まれていることを捉える。</li><li>・沖縄県の気候に着目して、夏の蒸し暑さや台風へ備えた暮らしの工夫を沖縄県の人々が取り入れていることを捉える。また、沖縄県の歴史に触れる。</li><li>・野辺山原の地形に着目し、夏でも涼しい高地の自然条件を生かして、どのような農業が営まれているか考える。</li><li>・野辺山原の地形に着目して、高地の自然条件を生かして、どのような産業が展開されているか考える。</li><li>・野辺山原の地形に着目して、野辺山原の人々が高地の自然条件を克服するために、どのような努力をしてきたか考える。</li></ul>
第 3 次 (5 時間)	<ul style="list-style-type: none"><li>・〈選択〉教材であることから、寒い気候について取り上げ、北海道の観光、北海道の農業・水産業、北海道の人々の暮らしの 3 つの中から、自由選択して、教科書と図書館資料とを並行して活用し、調べ学習をする。(☆)</li><li>・教科書内容をより詳しく説明している情報（写真、グラフ、統計的資料等）を図書館資料から探して、考えをまとめる。(本時)(☆)</li><li>・まとめた内容をもとに、ロイロノートを用いて発表資料をつくる。(☆)</li><li>・調べ学習の発表を行う。(☆)</li><li>・調べた地域の自然条件と人々の暮らしとの関係を整理して、人々が自然条件の特色を生かして産業を営んでいること、自然条件に合わせる工夫や克服する努力をしていることを理解する。</li></ul>

## 本時のねらい

- ・図書館資料から、自身の選択した内容をより詳しく説明することのできる情報（写真、グラフ、統計的資料等）を選ぶことができる。

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	<p>1. 前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自分の選んだ視点について確認する。(北海道の観光、農業・水産業、人々の暮らし)</li><li>・どの資料を使うか考える。</li></ul> <p>めあて：自分の説明を詳しくできる情報を集めて、まとめよう</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料の中で必要な情報（特に図やグラフ）で、伝えやすいものを選ぶように促す。</li></ul>
展開 (35分)	<p>2. 選んだ資料の中から使える情報を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グラフなどの数値があるものや、具体的な写真があるものを選ぶ。</li><li>・同じテーマの子ども同士で、共有ノートを用いる。</li><li>・発表することを意識して、資料の見やすさや、わかりやすさを考える。</li></ul> <p>3. 作成したスライドを班で見合う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・用いた情報が分かりやすいかを考える</li><li>・内容について同じものはないかや、まとめをどうするのかなどを考える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の内容とも関連付けるよう促す。</li><li>・北海道の地域を絞るように指導する。</li><li>・資料の中から必要なページをロイロノートの資料箱に入れておく。写真やグラフなどは、スライド作成の際に、張り付けることも可能になる。</li></ul>
まとめ (5分)	<p>4. 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自身の選択した内容をより詳しく説明することのできる情報を選ぶことができたかどうか考える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・選んだ情報をどのように伝えればよいか考えるように声かけし、次時に繋げられるようにする。</li></ul>

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・あたたかい気候の沖縄県を扱うことで、観光、農業・水産業、人々の暮らしという 3 つの視点について学習してきているので、寒い気候の北海道でも同じ視点で調べることができると考えた。教科書では、2 ページにまとめられているが、図書館資料は情報が詳しいために、膨大な情報量がある。その中から、必要な情報を選ぶ活動に取り組んだことで、自分の伝えたいことを詳しくする「資料の効果」の意味がよく理解できた。
- ・また、教科書資料だけでなく、様々な資料と出会う機会になり、学習内容の理解にも繋がった。



発表に必要な資料を選んでいる様子